

ル 4
3504
1



慶應戊辰秋發

赤報義士

洛東靈

隱政免岐集

不許翻刻

京師書林

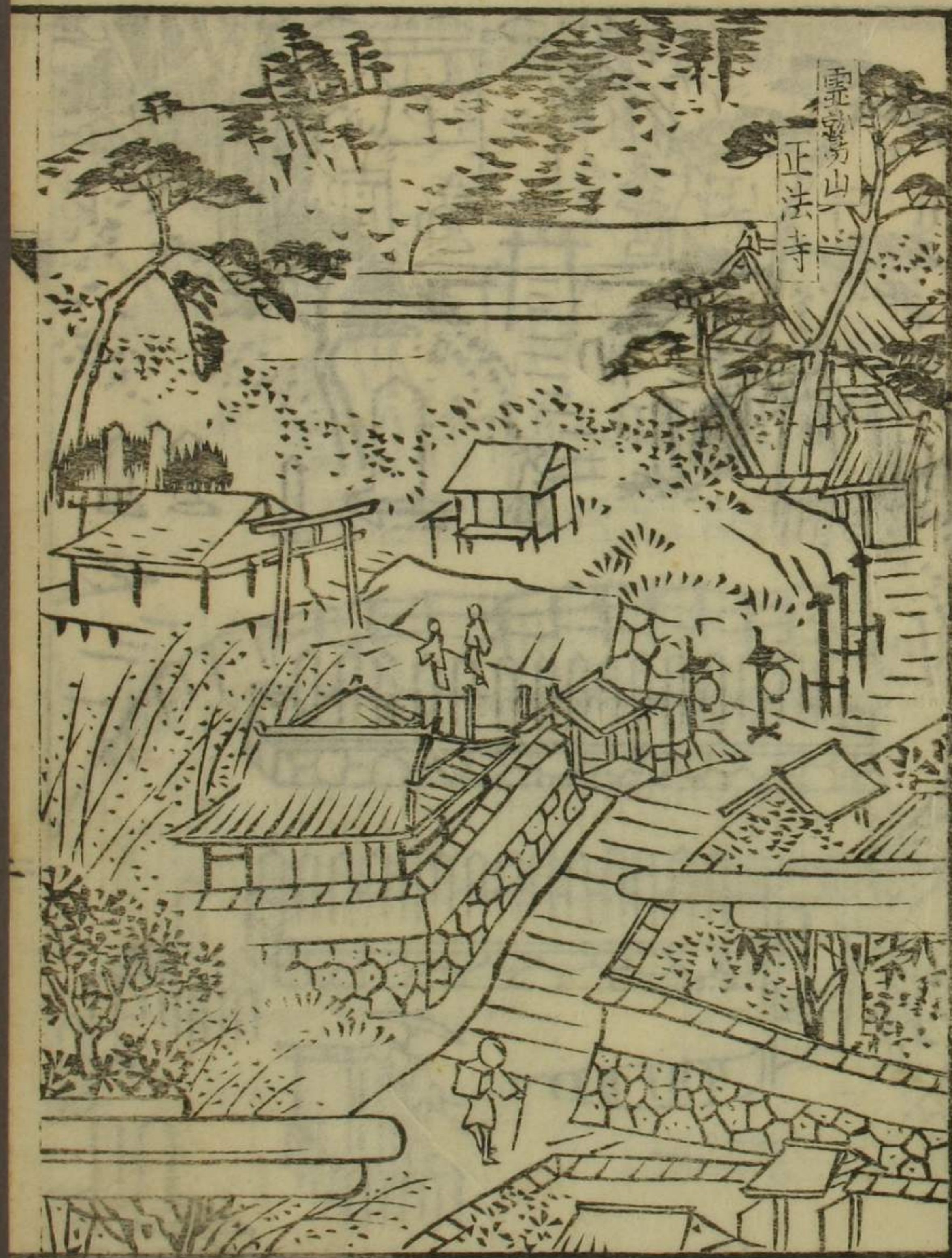
菊秀軒發行



明治四十三年十月三日
市島館長 氏啓

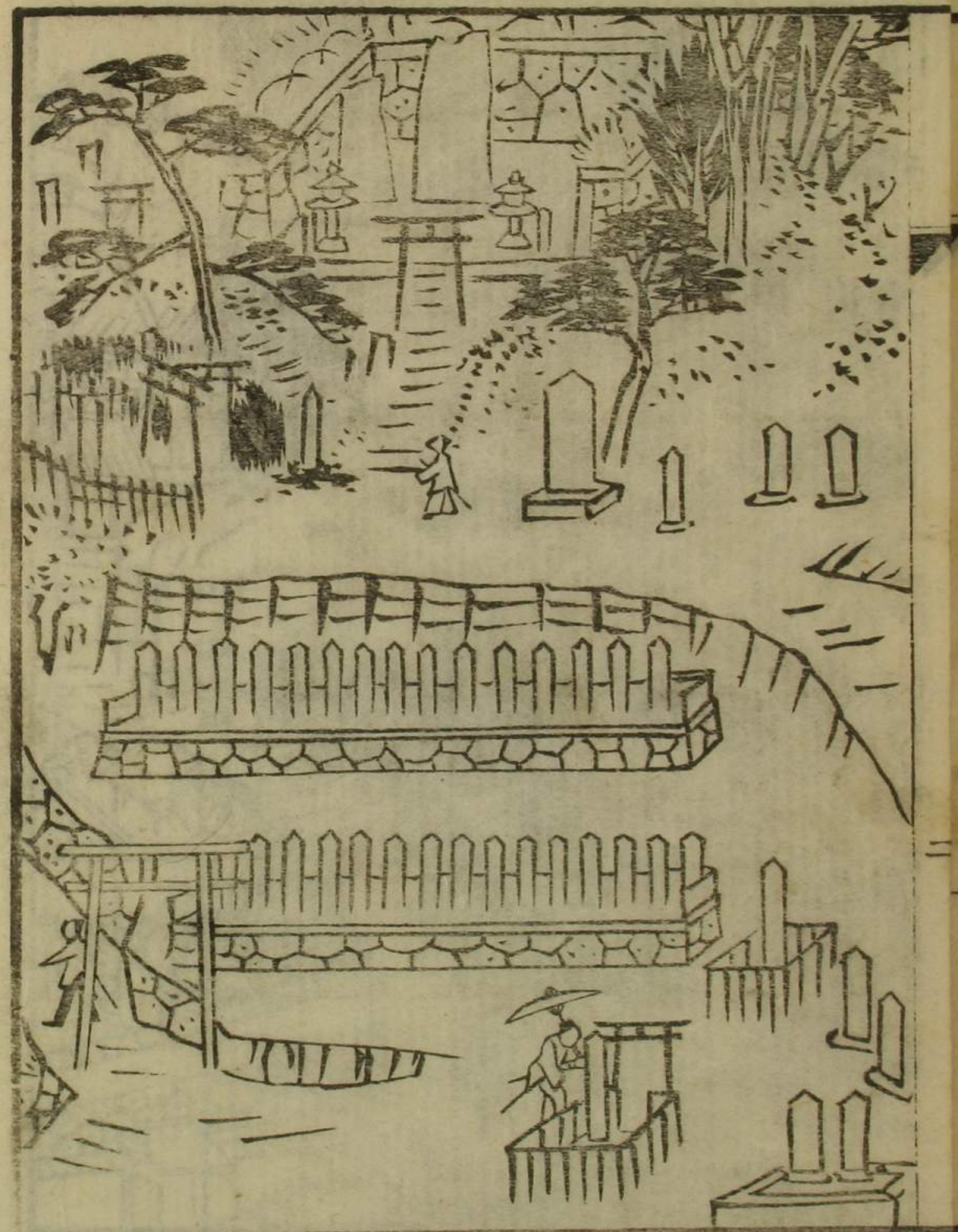
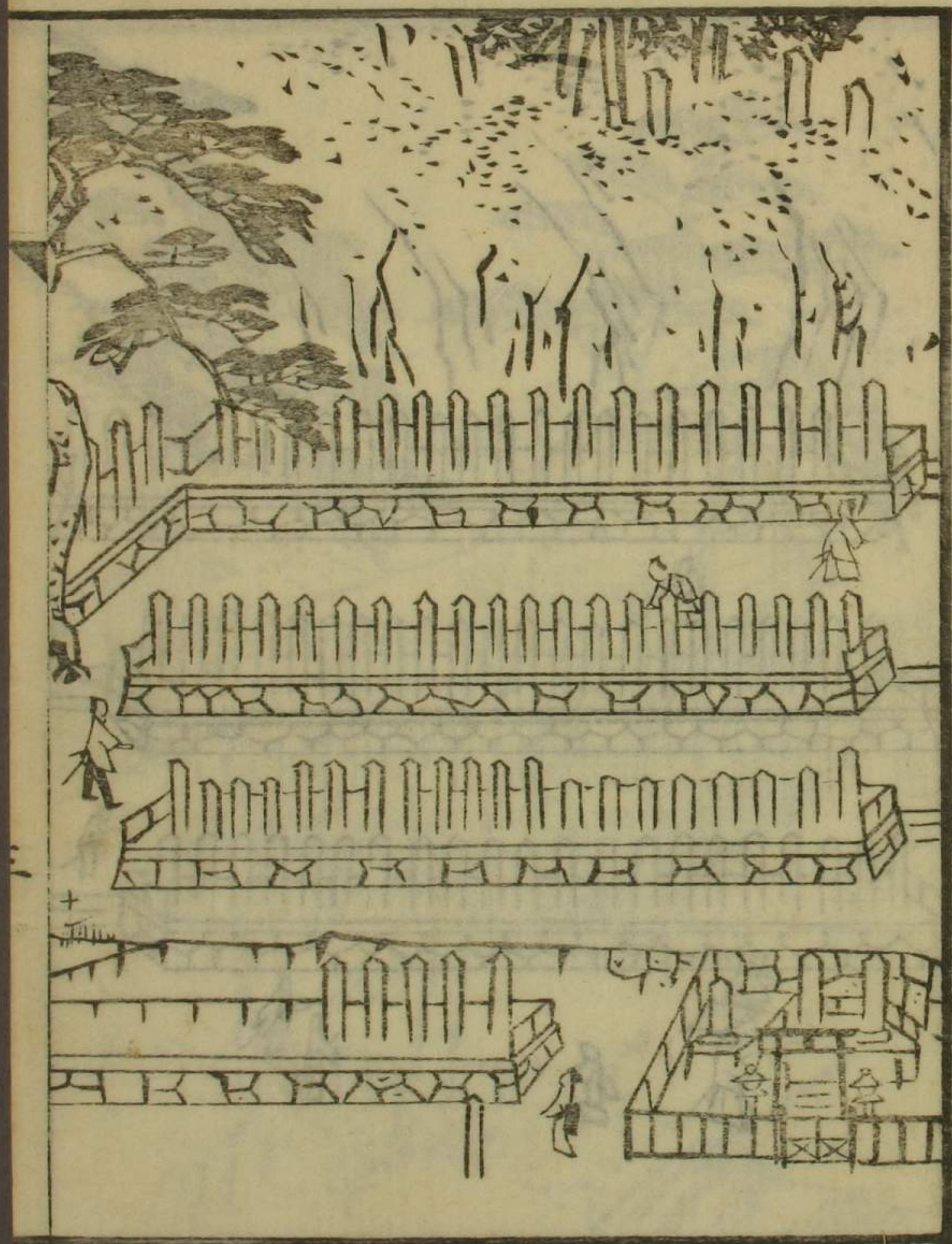
謹致お礼素片

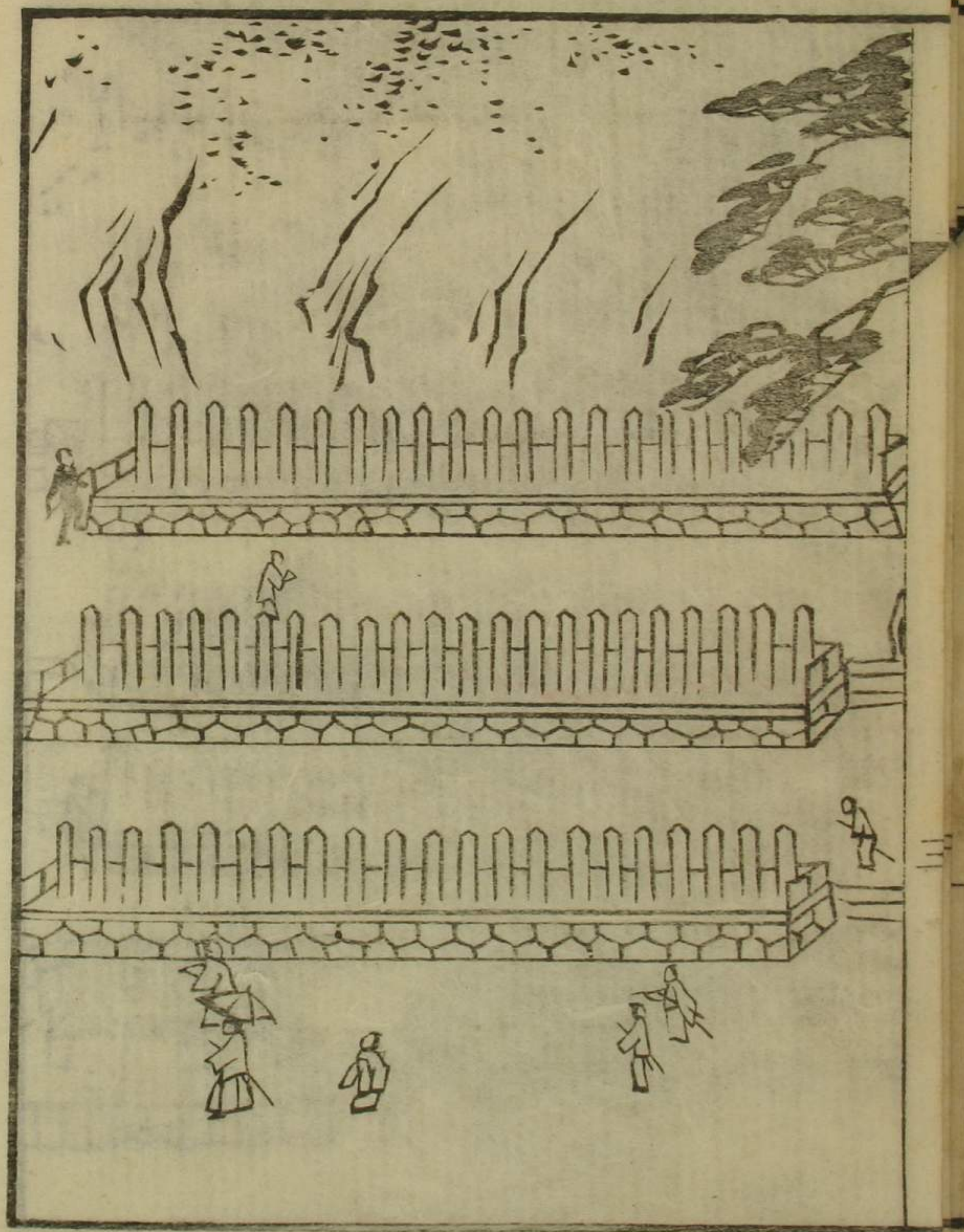
貴客の年以來あるは為志を
 終ひ終ふ方程を輕くし終ふ人の
 多るるを今畏るも
 大君の御自天下所食賜ふ所其の
 多る程あるは終るるを云々の
 此中程は身金代を替るる有志士の
 神志と振込ありまぬ僕もいしく



難なるのよきいふは此の隠釈を以て
 信々有志なる功績を仰ぎて清く
 雅くそのかゝるのやうに振舞ふ所
 隠釈集を以て世の人々に示す
 ことなるをいふことなり

其の意より
 五月 東雅園主人
 宗孝稿





南土之壹段

伊藤 和義

君うゝあちと
かゝるひと
さゝるひと
あゝるひと
のちと
くちと

元治元年甲子七月十日

伊藤 田岡俊三郎久恒之墓

土佐 上田膽治橋正敬之墓

土佐 半田紋吉源成久之墓

土佐 伊藤甲之助藤原和義之墓

土佐 尾崎幸進藤原基之墓

土佐 那須俊平藤原重任之墓

土佐 柳井健次友政之墓

土佐 中平龍之助藤原定雄之墓

畠 原道太盾雄之墓

筑前 野田逸磨無司之墓

肥後 内田弥三郎藤原秀行墓

對州 青木与三郎之墓

對州 津田愛之助之墓

作州 安藤誠之助之墓

伊豫 小橋友之助源以義之墓

以義

ふのたえ

はくせ

さあ

ふせのほ

くら

む

南之二段目

家散千金求死士
身由一創答君恩

若松氏

元治元甲子七月十九日

豐後 若松弘之進之墓

同上

膳所 栗屋良臣之墓

同上

河内 武林八郎之墓

同上

川嶋武二郎直吉之墓

同六月五日

肥後 宮部昌藏招魂之碣

同上

伊藤香力招魂之碣

同七月十九日

肥後 松田十助招魂之碣

土佐 本山七郎招魂之碣

同六月五日

廣岡浪秀正茶之墓

同上

播磨 大高又次郎招魂之碣

同上

古高俊太郎之墓

同上

河瀬大宰源定招魂之碣

河瀬大宰室 氏招魂之碣

福岡祐次郎招魂之碣

中之上段目

元治元年甲子七月十九日死

弘勝之進之墓

同上

出羽帛搥之墓

同上

田中誠助之墓

同上

山田千吉之墓

同上

佐方熊三郎之墓

德中隊兵員
山縣友齋門下黨友之墓

三分利德三郎之墓

同上

今津守三郎之墓

同上

和智金槌之墓

同上

高橋与三之墓

同上

桂勝三郎之墓

同上

有吉熊次郎之墓

同上

弘中寺惣左衛門順忠之墓

同上

湯川庄三之墓

元治紀元甲子六月六日

所山五六郎神靈

同上

杉山招輔源律義之墓

同上

吉田捻磨橘秀實神靈

同上

周田半藏越知正順之墓

同上

松尾甲之進則信之墓

文久三年戊辰四月十三日

松浦龜太郎知新之墓

文久三年庚辰三月廿三日

南木四郎源義次之墓

精勇船越寺愚之墓

元治元年甲子七月十九日戰死

來嶋入兵衛源政久之墓

同上

久坂義助越智通武之墓

同上

寺嶋忠三郎源昌昭之墓

同上

入江九市弘毅之墓

墨使來東海 公怒髮上指
天勅忽雷震 感激不自已
從此廢寢食 要回倒瀾水
博浪誤一擊 贊高心自擬
嗟公臨絕嗟 悲憤徹骨髓
七生期滅賊 忠魂何嘗死
大義百世師 廿一回猛士

中ノ二段目

元治元年甲子七月廿日

山田虎之助之墓

同上

内山太郎右衛門之墓

同上

吉岡庄助招魂之碣

同上

有田三郎兵衛之墓

慶應元年七月十八日

大町國太郎之墓

同上

野田新太郎之墓

同上

堀田音三郎之墓

同二年寅正月廿二日

山根亦七之墓

同元年己十二月十八日

小谷嘉兵衛之墓

同上

野原彦之進之墓

同上

藤村与吉郎之墓

同上

佐藤彦兵衛之墓

同上

河野理兵衛通貫之墓

同上

仲子榮太郎之墓

同二年寅五月十日

大心之墓

慶應元年七月十九日

圓曉之墓

口

七月十六日

惠定之墓

口

七月廿日

安九之墓

采溪之墓

元治元年甲子七月廿日

吉竹卯吉之墓

中之三目

元治元年甲子七月十九日

引頭与市之墓

口上

幾輔之墓

口上

照平之墓

口上

吉太郎之墓

口上

市藏之墓

口上

仲助之墓

口

七月廿日

佐藤市郎之墓

政之輔之墓

元治元甲子年七月廿日

二十七

長尾郁三郎平武雄之墓

同上

武雄

河邨丹齋之墓

同上

横田清兵衛平順宣招魂碣

いづれかの
後さうさうも
おれあき

大高忠兵衛之墓

あつと
いふあつと
あつと

西川幸助之墓

月々

池田惣兵衛招魂碣

山田小右衛門之墓

宮津三郎兵衛之墓

慶應二年寅三月五日

喜八之墓

日年 三月二日

徳藏之墓

元治元甲子年七月十九日

玉之石卯吉之墓

あつとあつと
かくあつとあつと
順宣

慶應三丁卯年
七月十六日國死

中岡慎太郎道正之墓

同年 同月日
廟被剽翌十七日死

坂本龍馬紀直房永之墓

日十二月十六日
國死

中之下

四段目

坂本龍馬紀直房永之僕
藤吉之墓

幸助之墓

三吉之墓

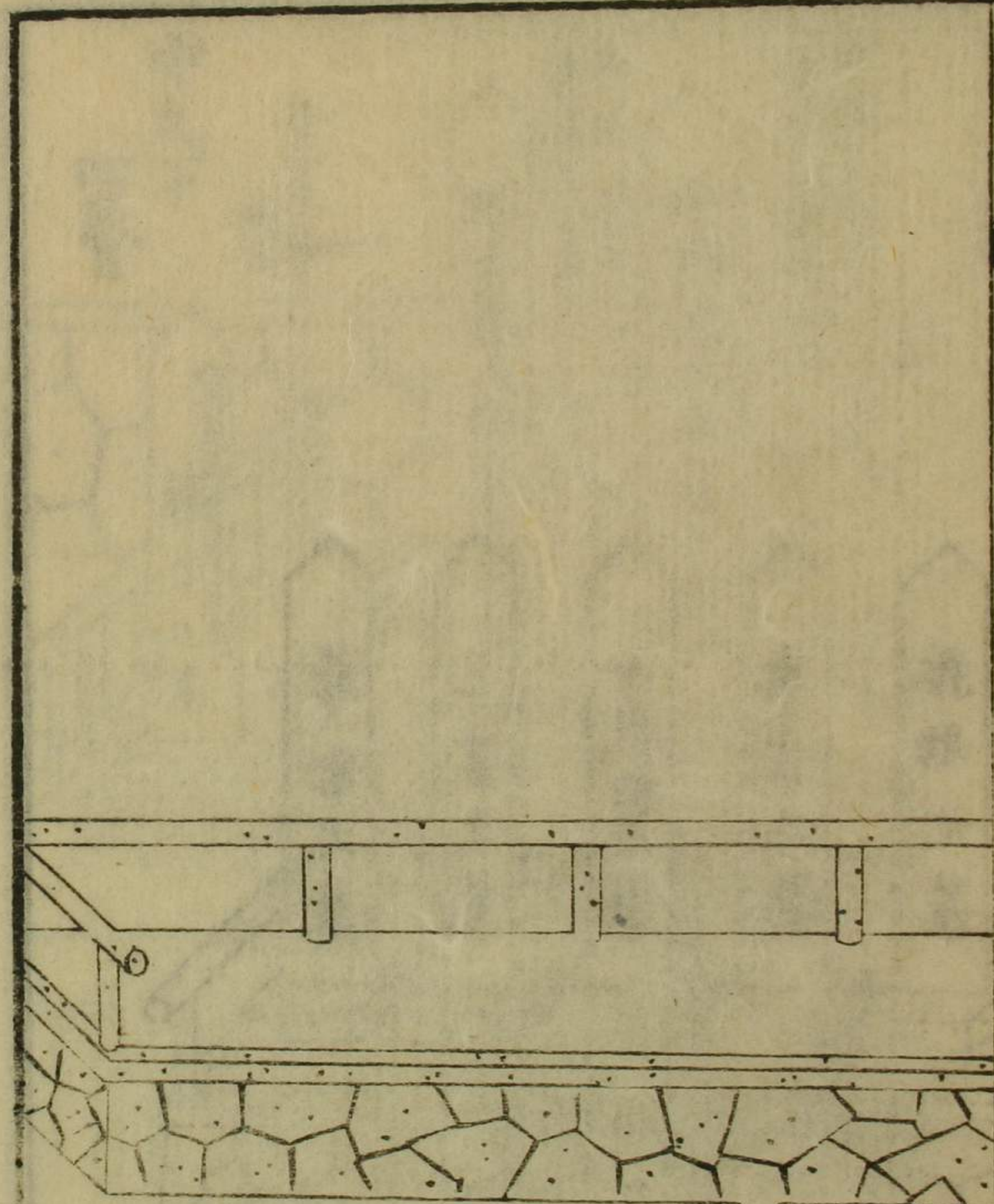
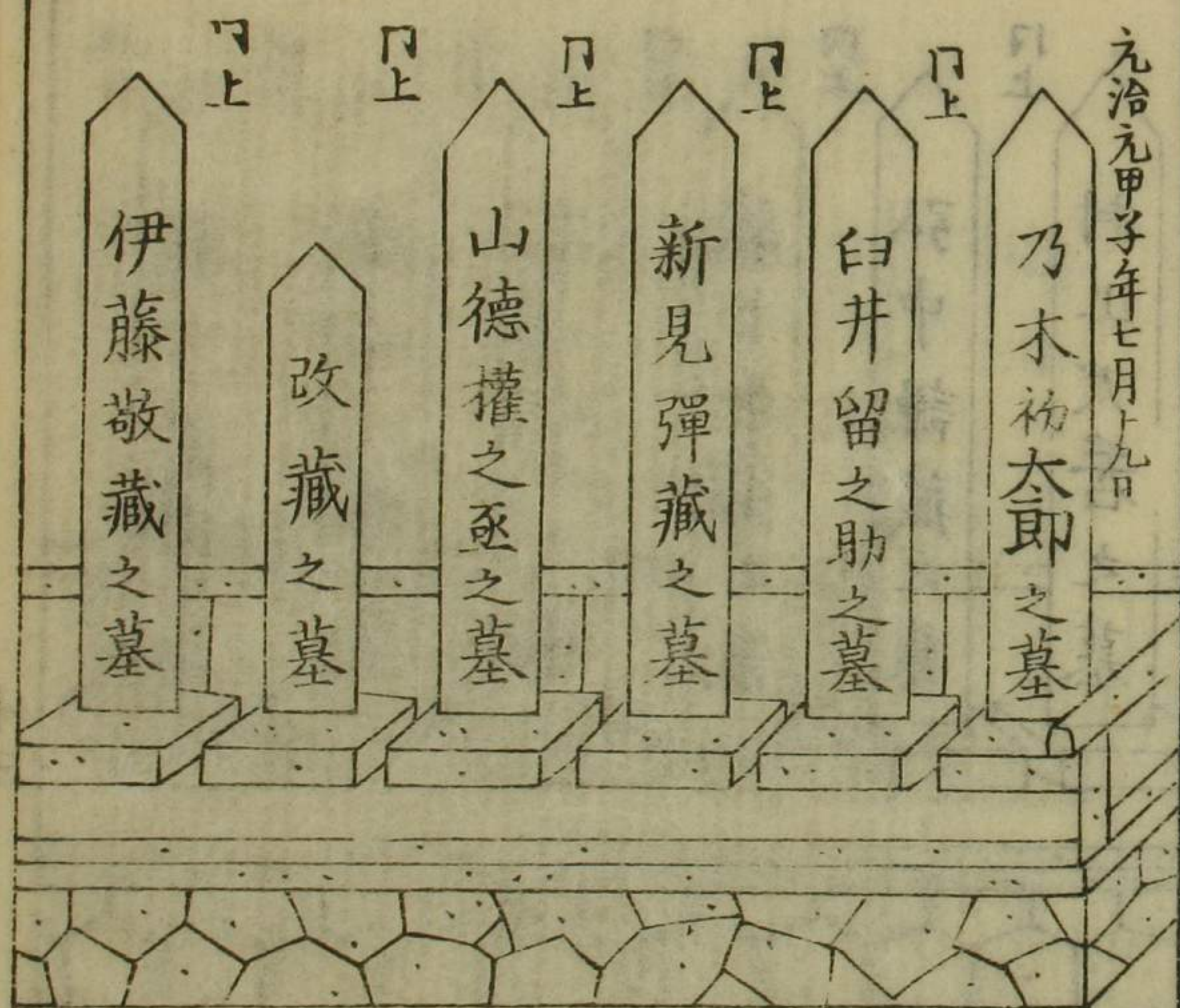
千代松之墓

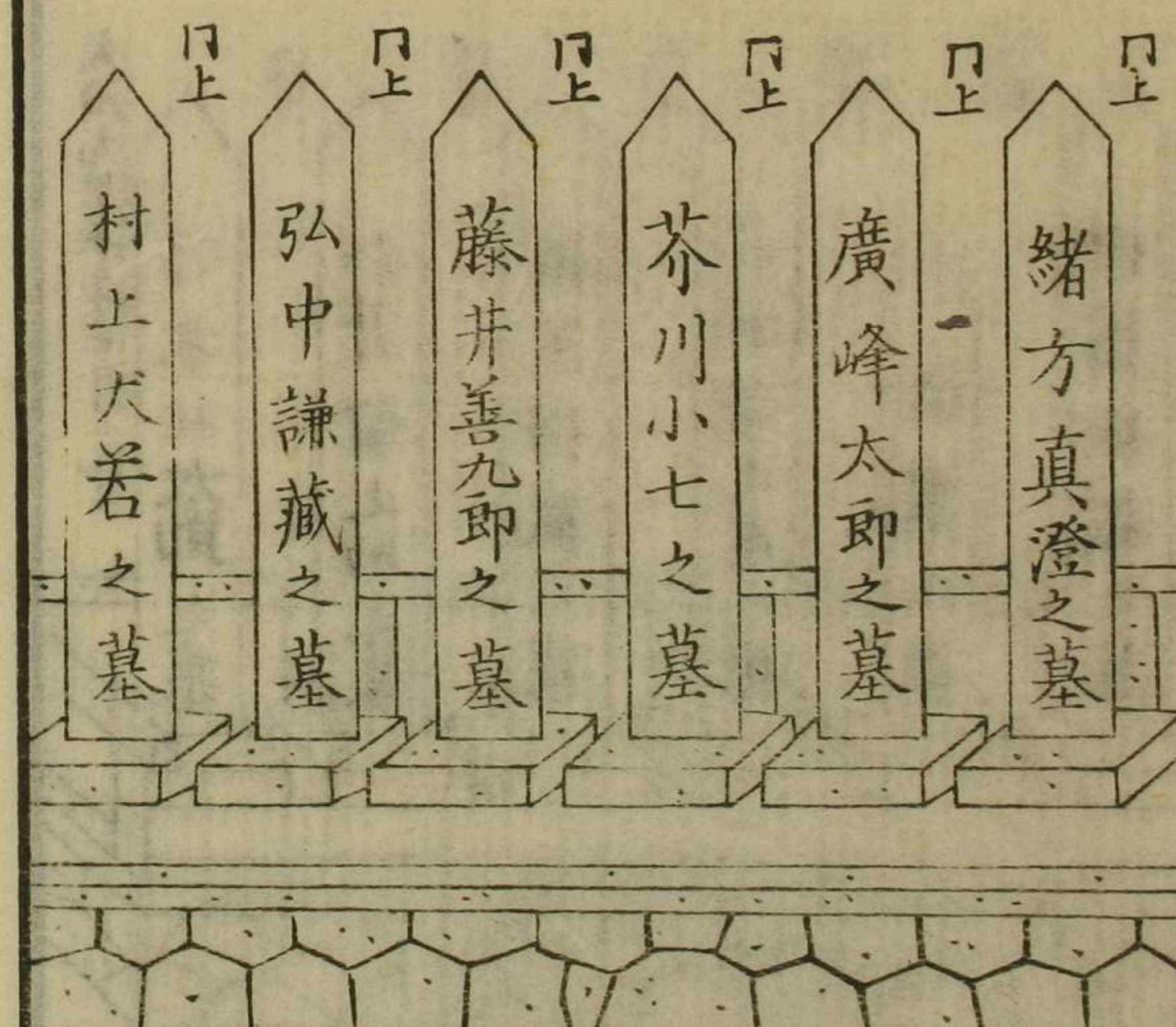
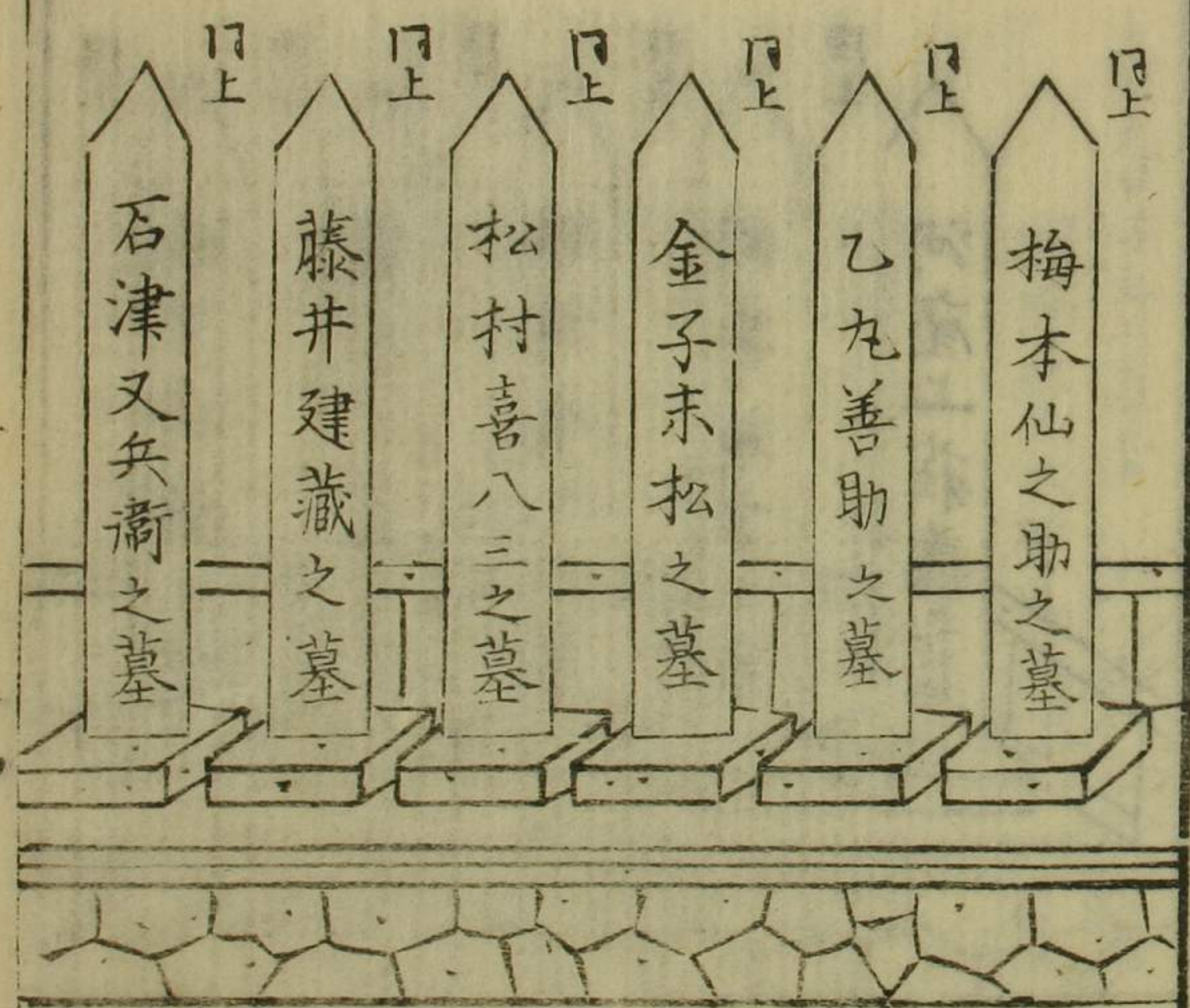
幸吉之墓

弥助之墓

北之上段目

元治元甲子年七月十九日

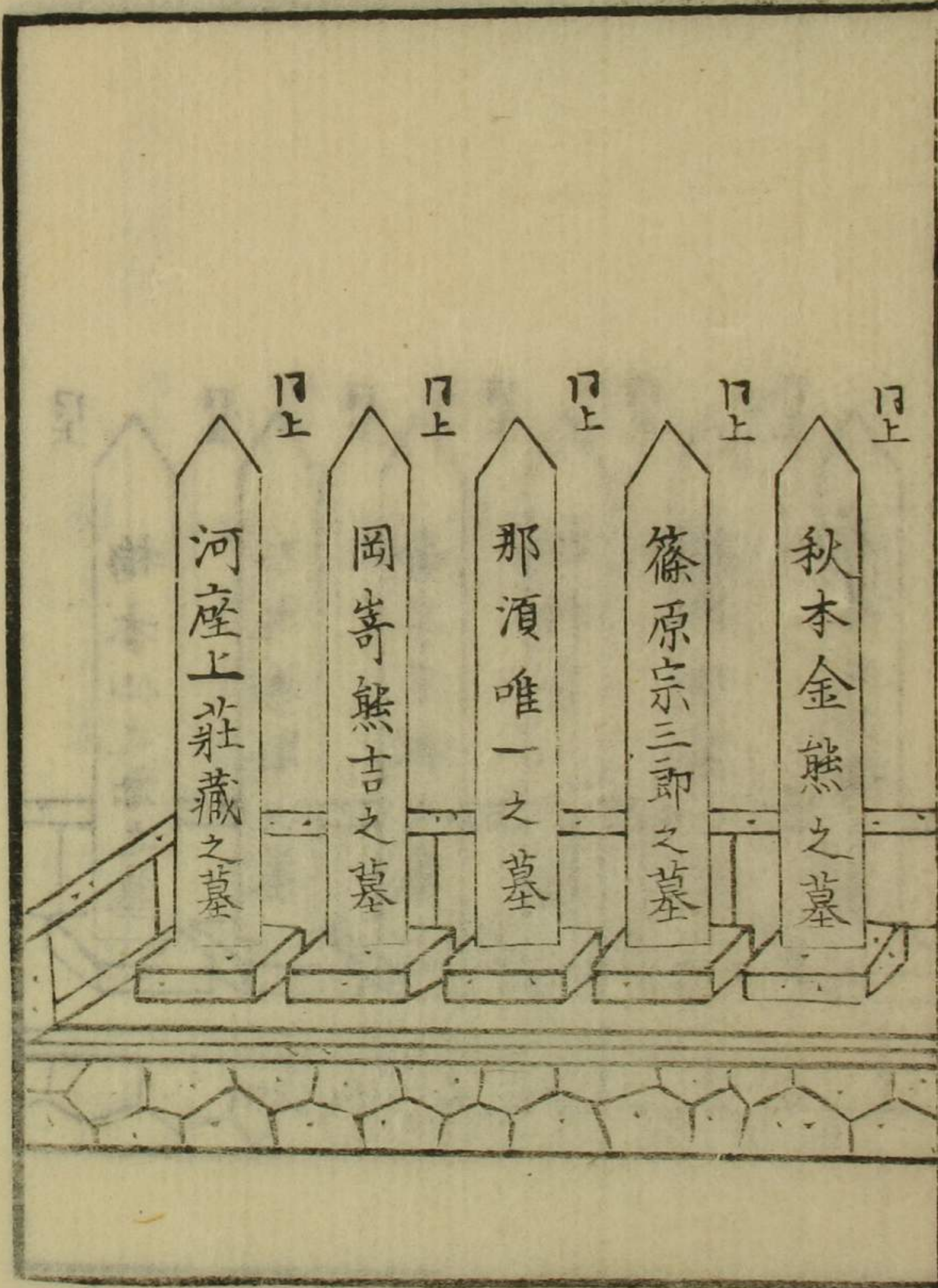
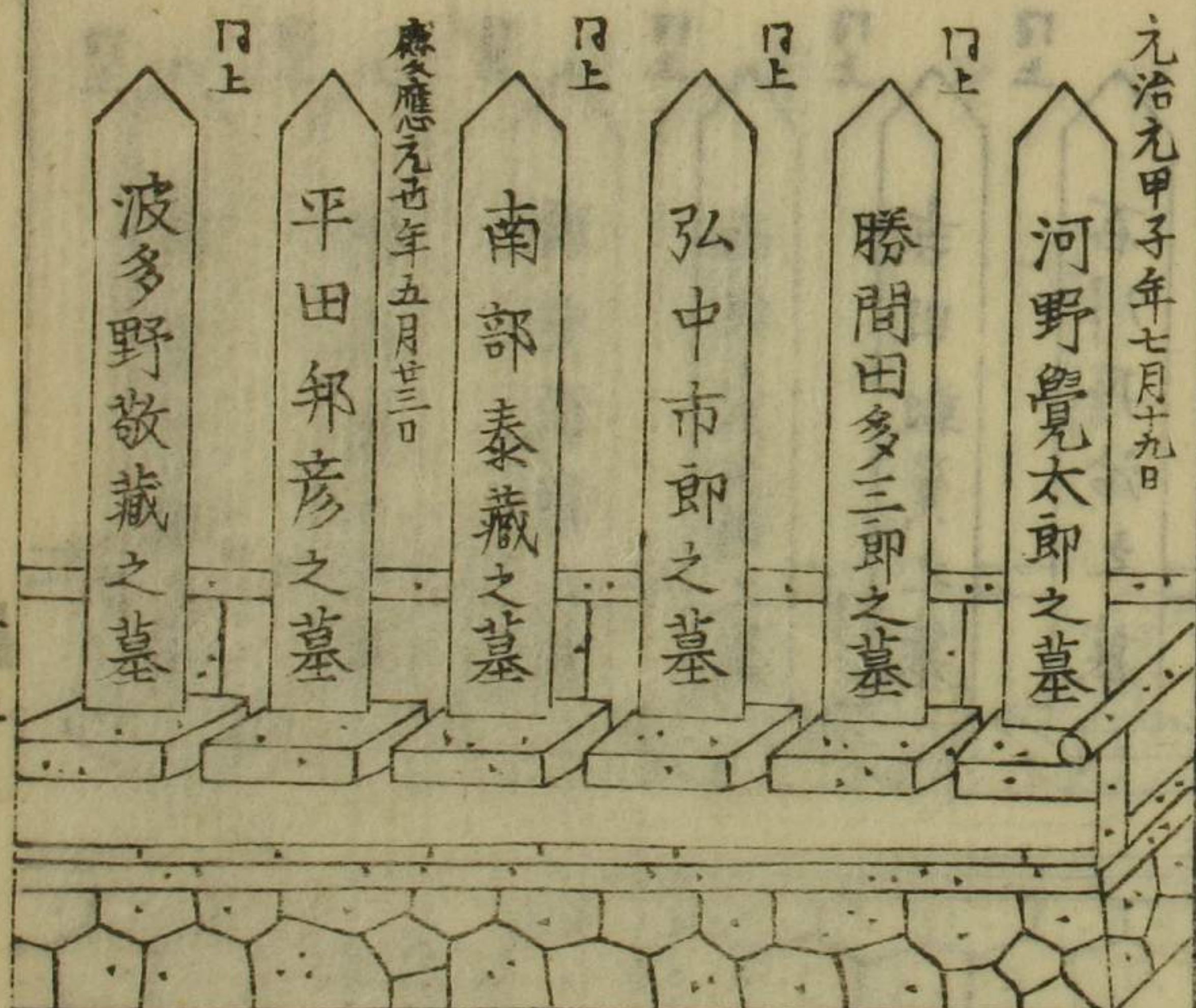


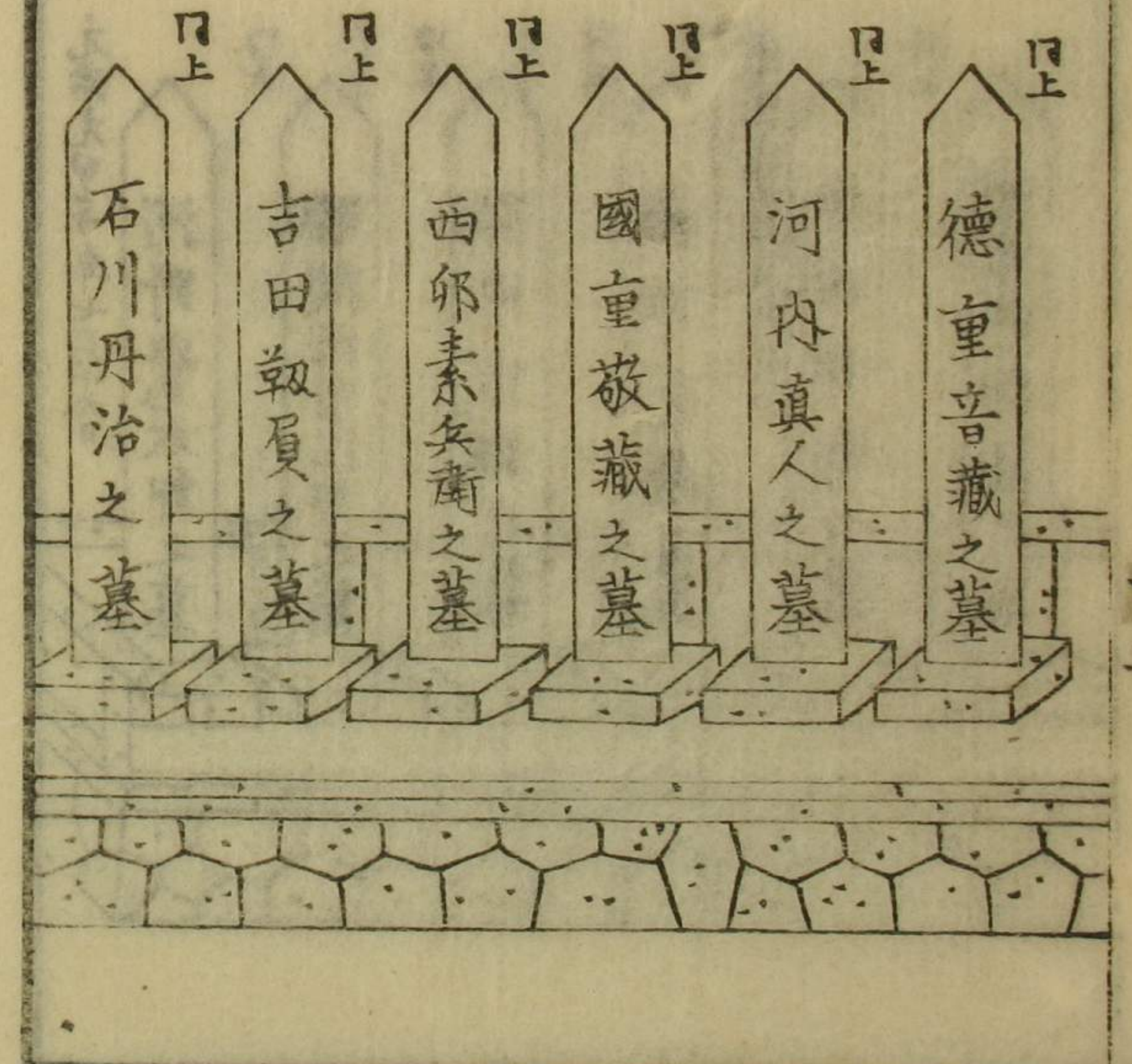
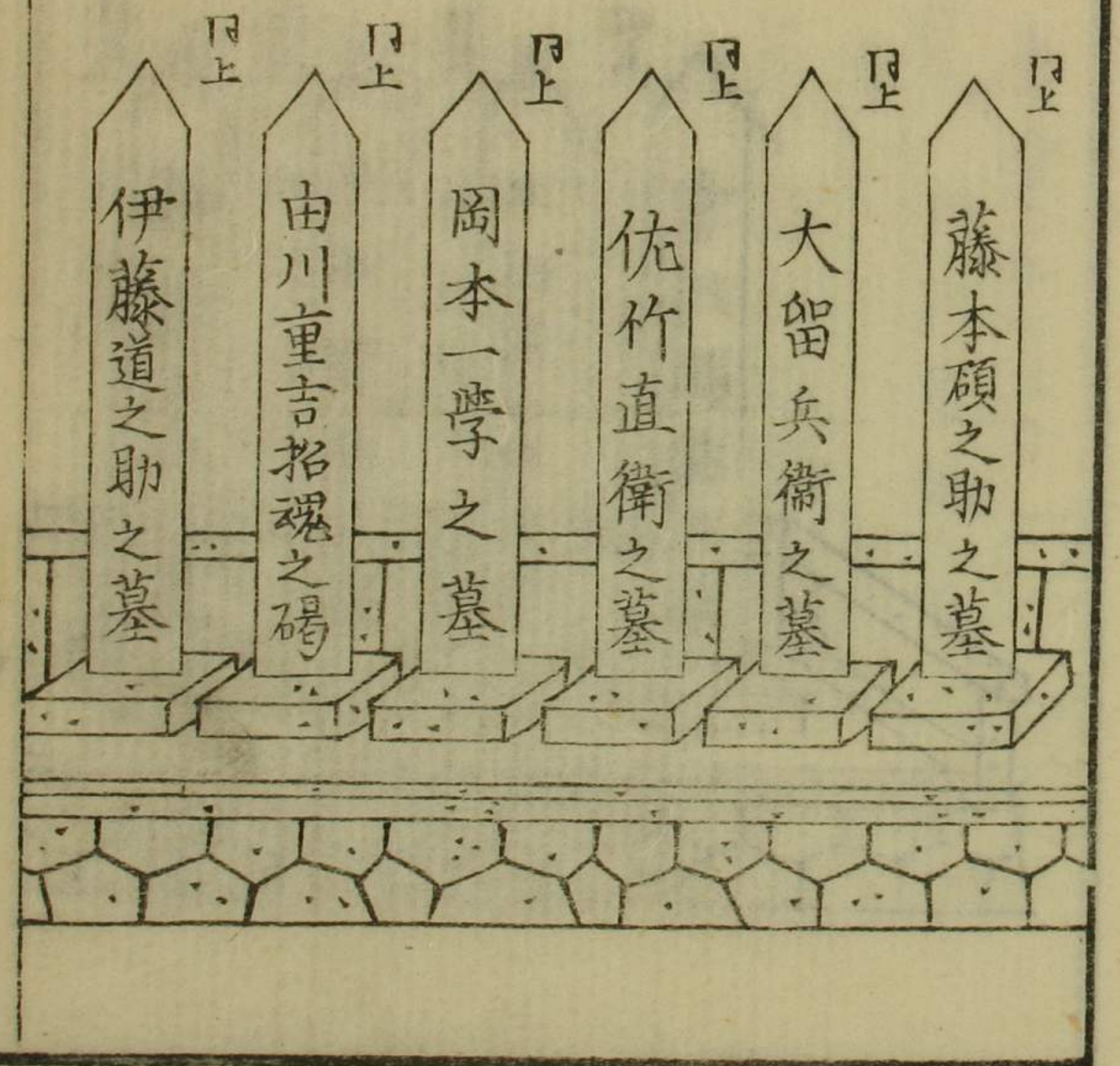


北中二段目

元治元甲子年七月十九日

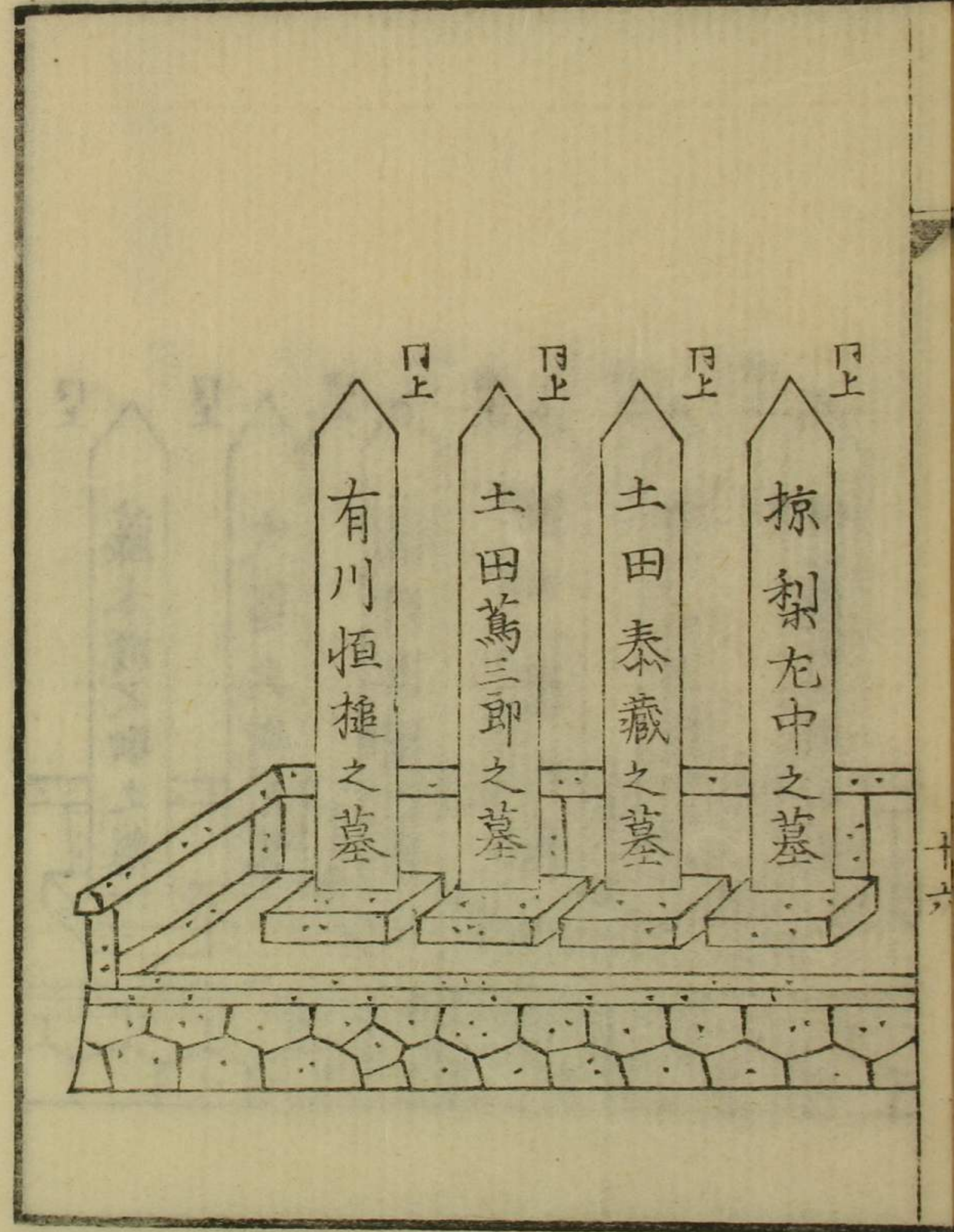
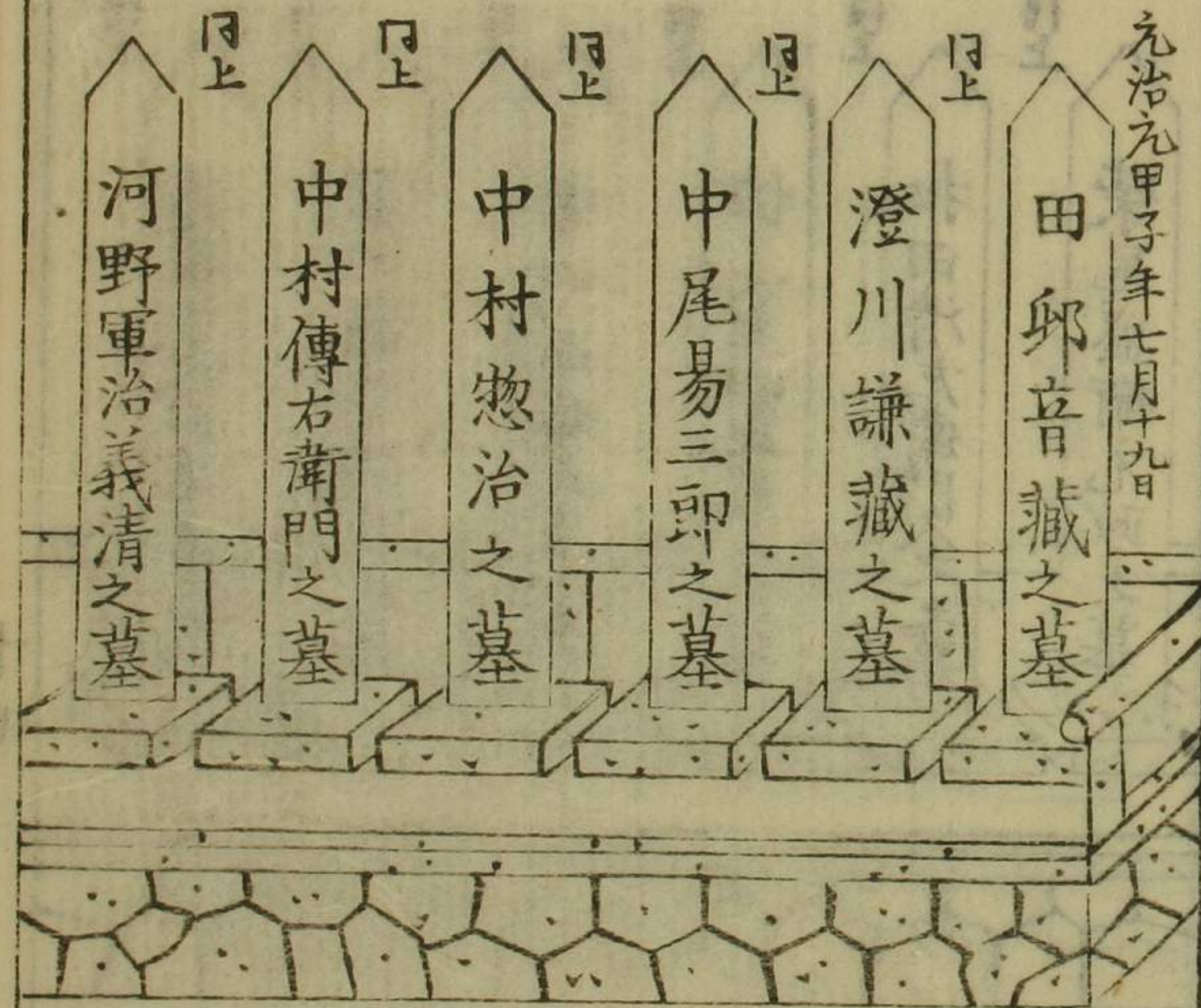
應永元年五月廿三日

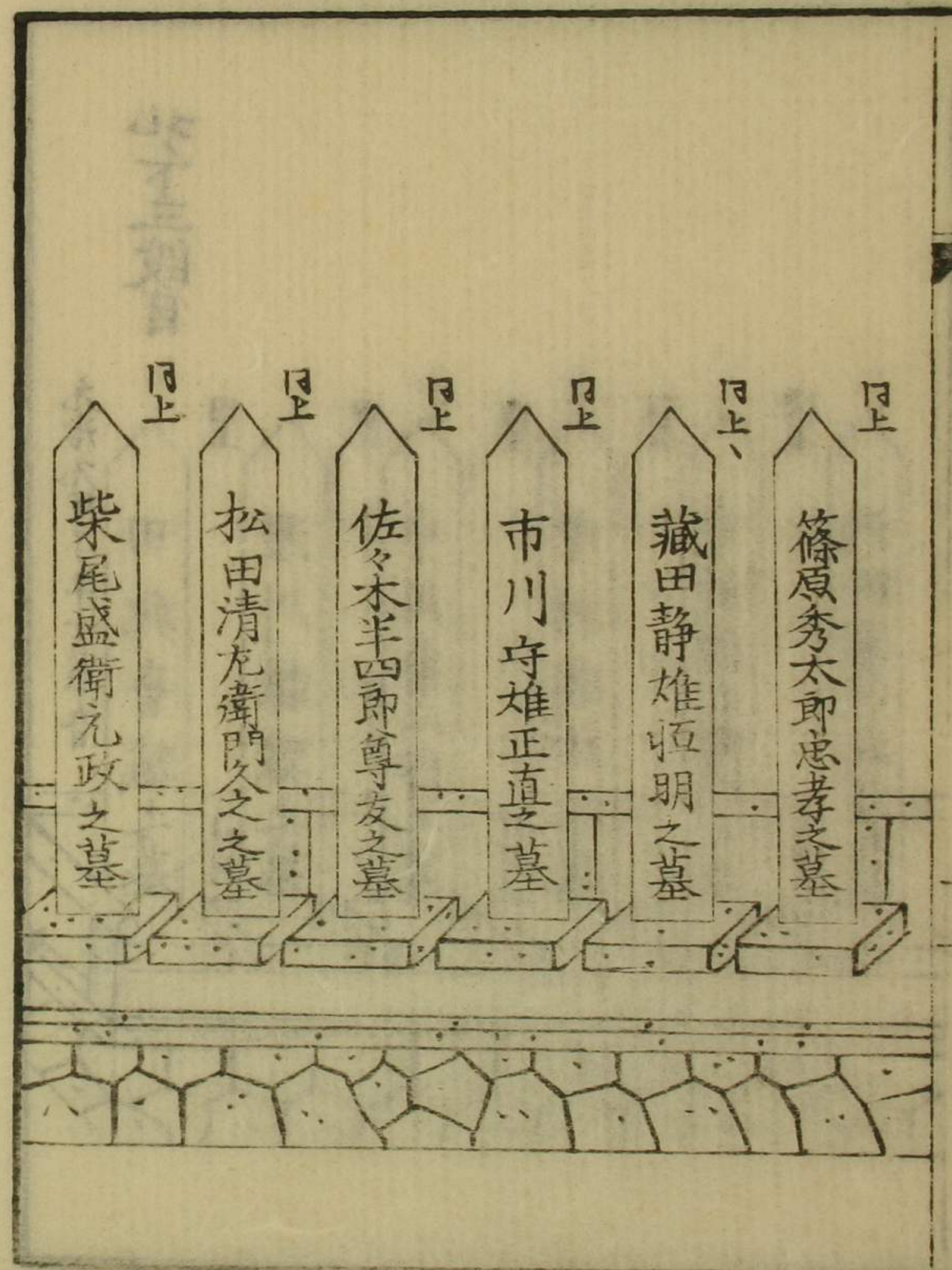
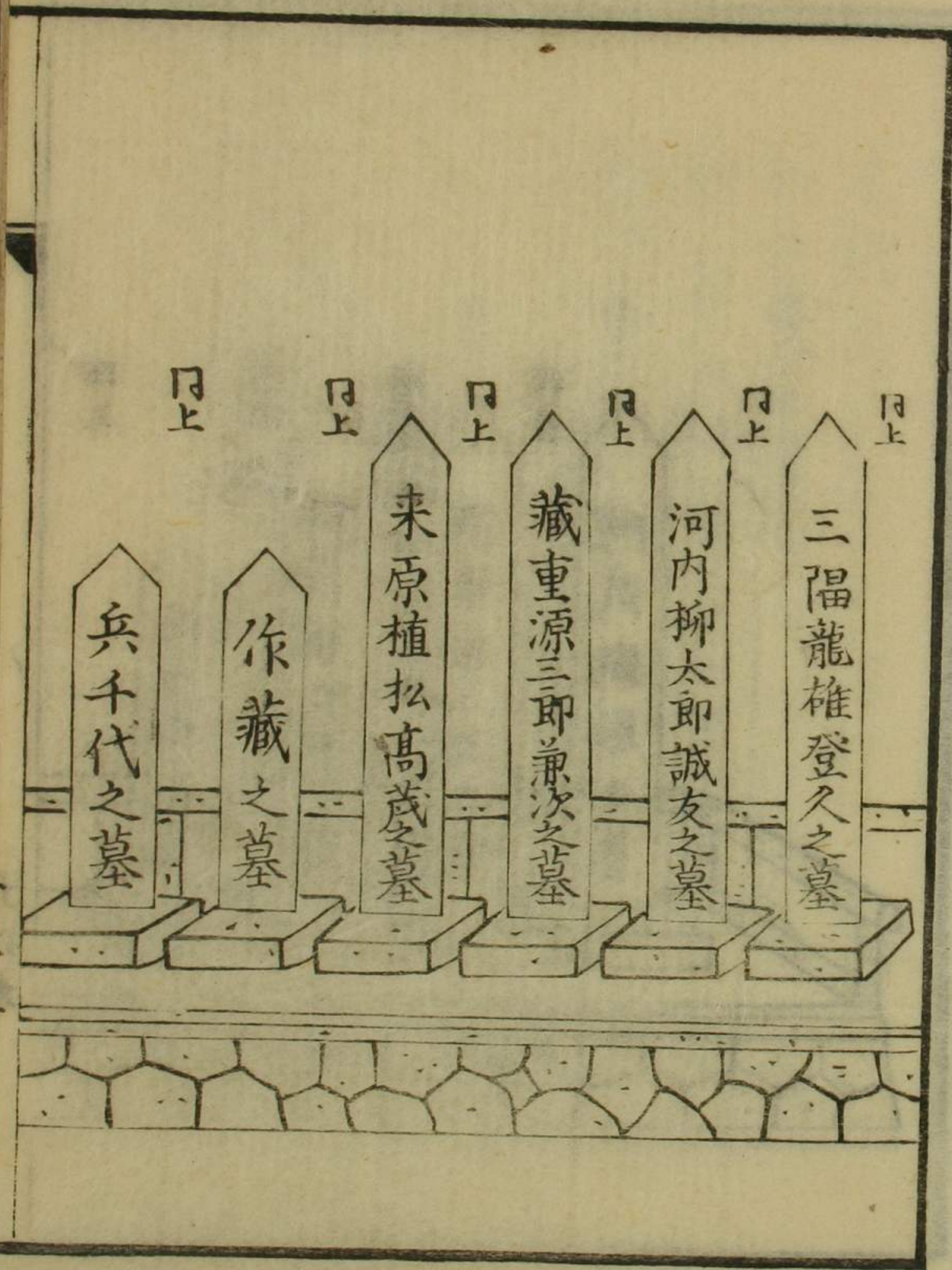


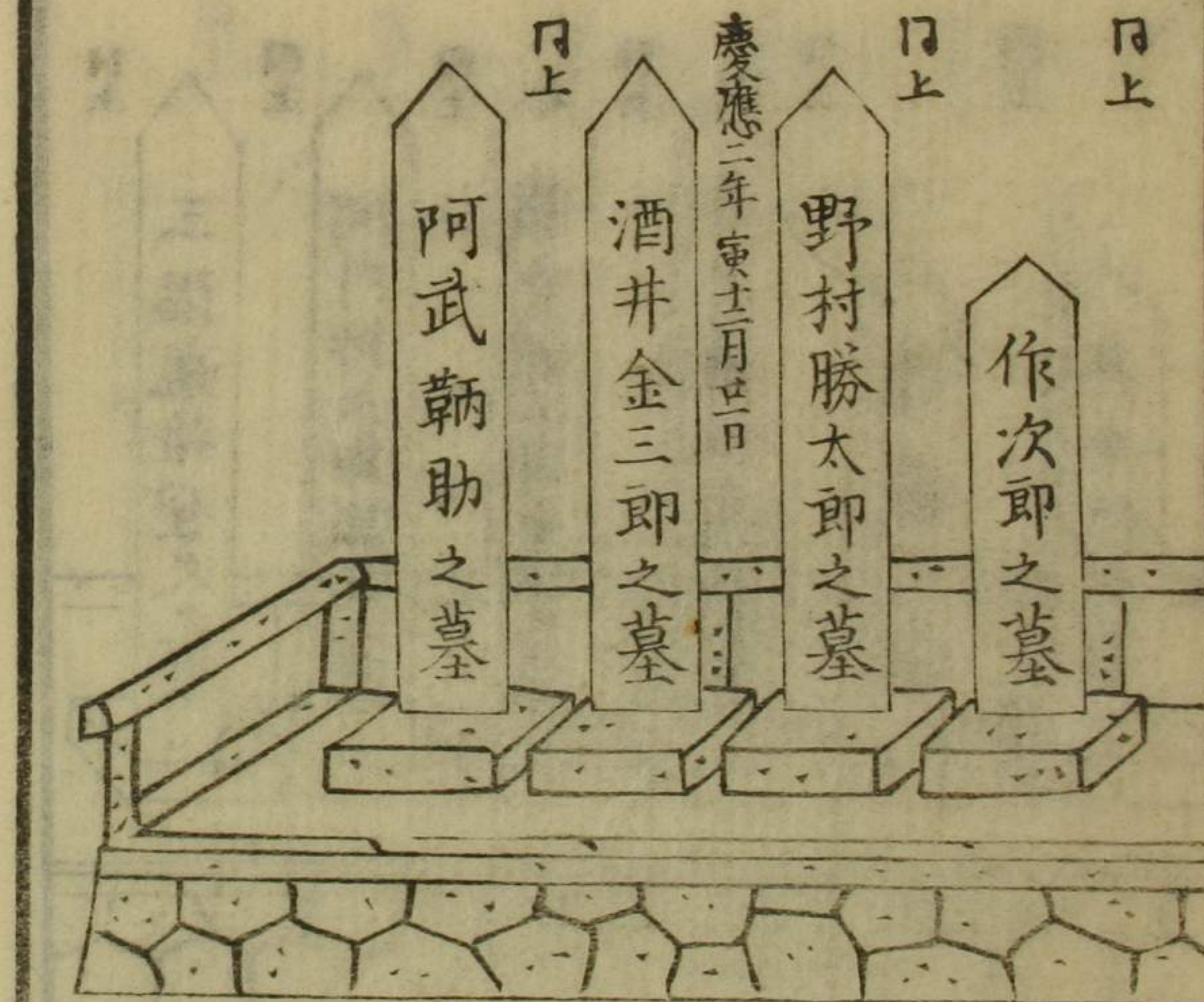
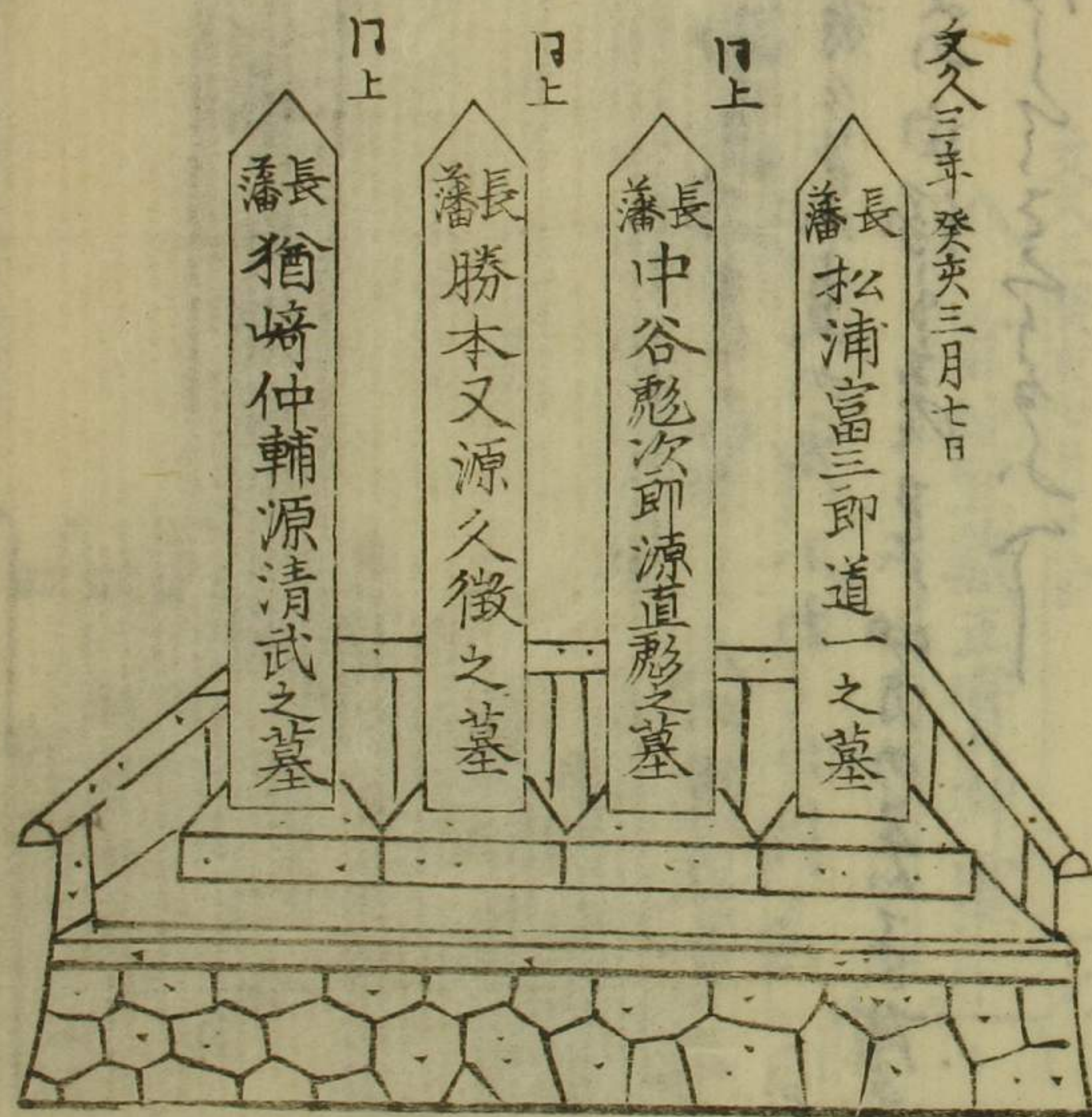


北下三段目

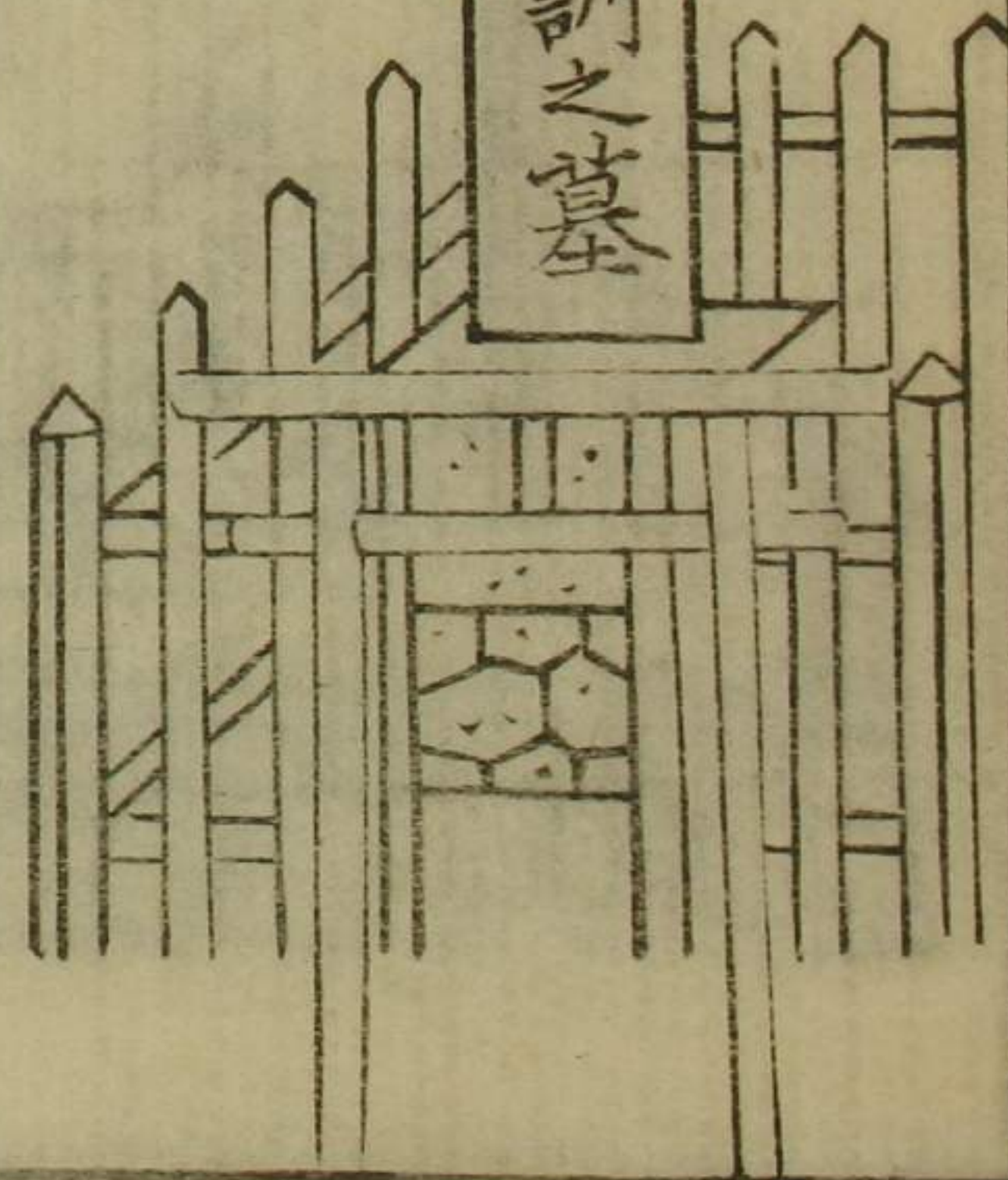
元治元甲子年七月十九日







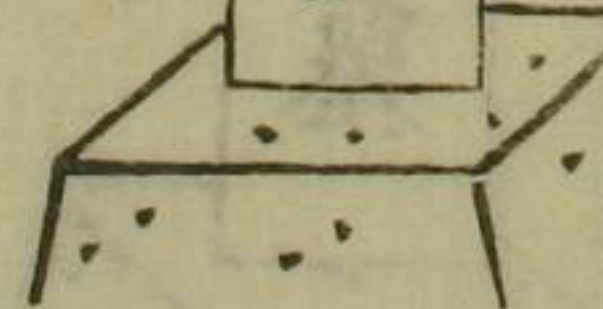
岩國秋山德太郎源陳訓之墓



此邦を憂ふ者あり人の隠微を破る
 海有る多き其の所不あらしむるを
 此邦の由縁も多き其の四方の子孫の
 不流しとてさうふへ

文久三癸亥七月廿八日

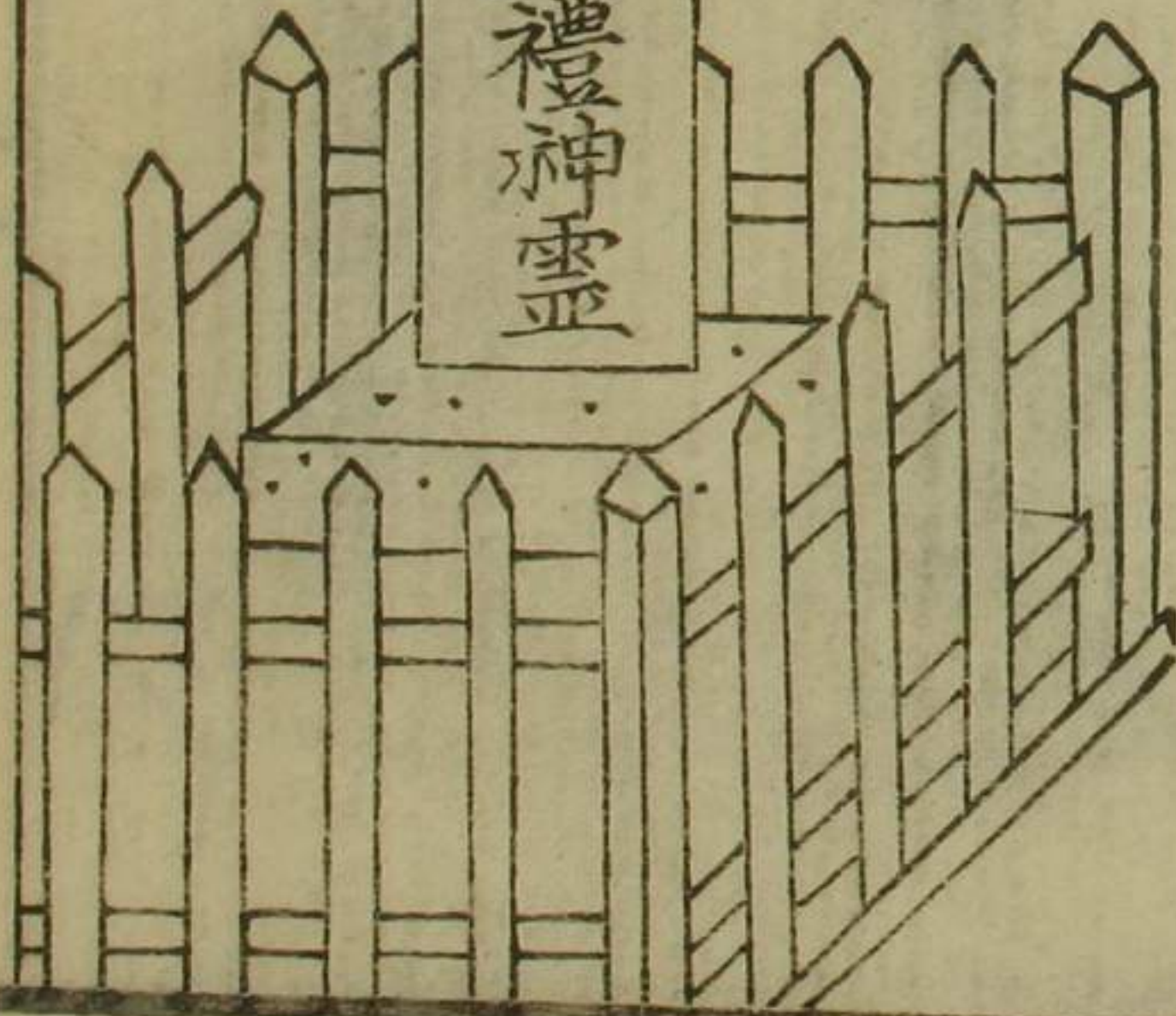
宮地宜藏正實神靈



元治紀元甲子七月十九日
 於獄中三忠士ノ刑死ヲ見テ
 正禮

山崩河裂國將淪 叔父疾子死葛輪
 火炎焦天地赤 濫刑斬初赤心人
 慶應三年卯十二月十一日神去

村井修理少進藤原正禮神靈



諱正義水府士也奉公命被役京師
志氣勇壯一朝憤勵而歿年二十六
寶元治元年六月十六日也葬于洛東
就島尾山

林忠五郎之墓

江幡定彦之墓

同文諱廣光

辭世

隆明

文久三年庚二月廿日

新國隊建之

因藩仙石佐多雄隆明之墓

慶應二年寅九月十三日死 廿五

土藩 安藤鎌治藤原正勝靈神

同上

廿四

藩土 藤崎吉五郎源揆彦靈神

慶應三年丁卯土月七日發行年廿三

十
洋
川

中井正五郎源義高招魂之碣

十一

辞世 林田石碑裏面ニ記ス

さねうけてちるや

大儀乃ほろろ花

とやうに急は

あふきくぬくも

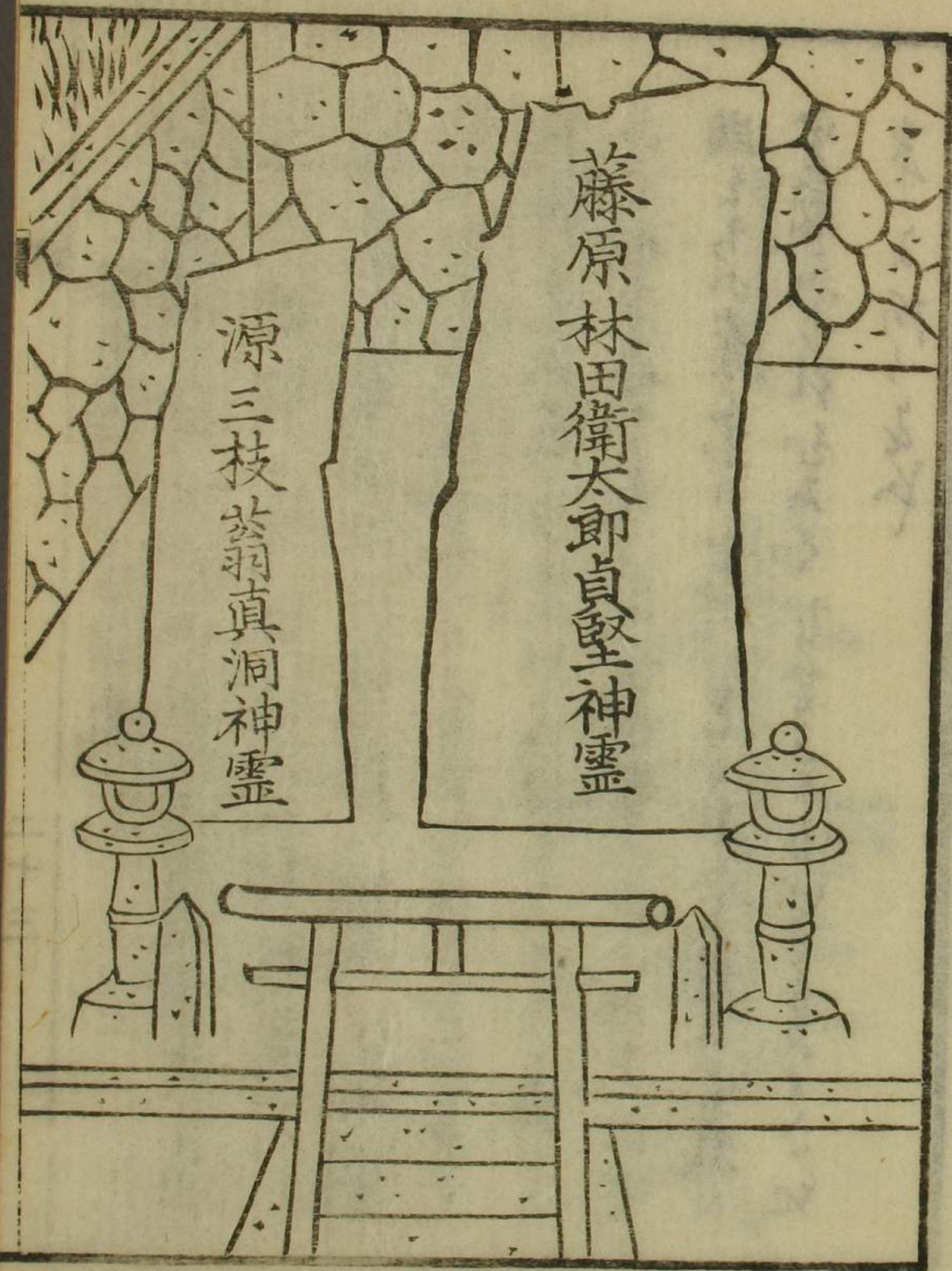
慶應四代辰二月晦日

辞世

源真洞

そなたをわがまをふのたえ

君の知くもを月影あそび



藤原林田衛太郎貞堅神霊

源三枝菰羽真洞神霊

洛東靈明舎由来

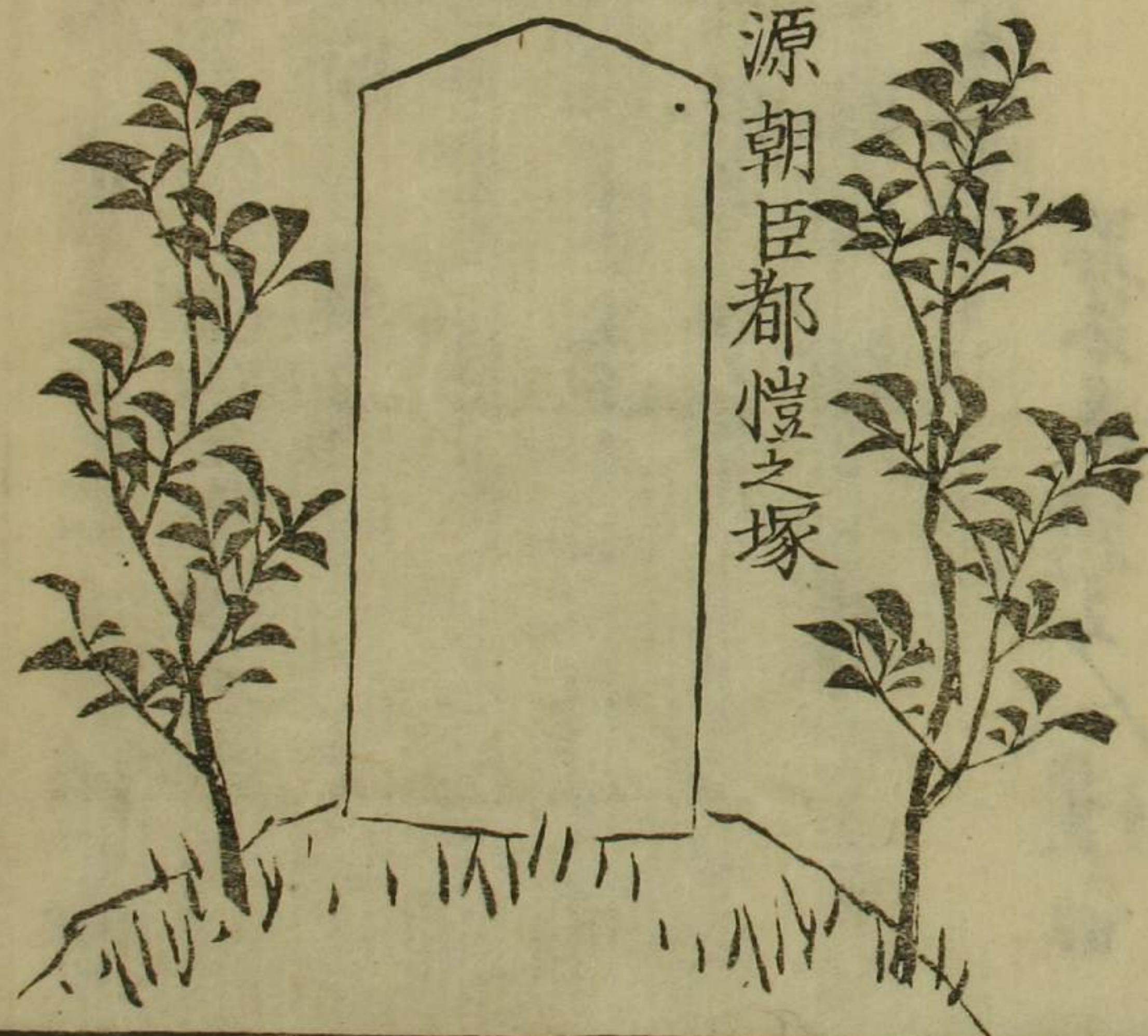
元来此地の神道の葬所あり靈明舎とて其
 むろ源朝臣都愷とて人神道志をく
 有るふ皇國の長く絶て神志人の靈
 祭りともた佛のふありと深くかげきて
 聊神との葬をたけよ振をのふさともやと
 あゝ心をききしふ幸ひ靈乃山不周をゆき
 國との葬をふりを行ひしふ今葬所を我
 皇國ふりたむくならるるいとふありと記
 事し何とてや

往昔都愷の
 靈參有の

志計久佐野
 詩希連留美
 千之御路和
 氣者喜身香
 敏賀萬能日
 加里南梨計
 理

東宮侍者
 藤原重武

源朝臣都愷之塚



往年は安の爲に難をくふ忠士は神意を
なくさめんとしたるいふいふ言ひを聞か
れし時其は墓傍を築きふしし中其の
名をくふ記しふ安の爲に難をくふ
なり難をくふしし神意を立世の強は神意を
相承ふ道あるは神意をくふなり難をくふ
只此等の一二を拾ふに神意をくふなり
疎漏をくふなり

京本新主人謹白

慶應四年戊辰中秋上梓

續隱玖鬼岐集 近刺

此は古の書に集りたる大和義戦士に續墓
をくふ言ひを集りたる書に集りたる書に
集りたる書に集りたる書に集りたる書に

京師書林

寺町通松原下ル町

菊屋喜兵衛發行

